

久慈市「地産地消ふれあい給食の日事業」が開催されました

1 はじめに

久慈市では、農林水産業に対する児童・生徒たちの関心や理解を深め、地産地消及び食育の推進を図ることを目的に、様々な活動を行っております。

この活動の一環として、2月10日（月）に久慈市の主催で原木しいたけを活用した学校給食を提供する「地産地消ふれあい給食の日事業」が開催され、県北振興局林務部から林業普及指導員が参加しましたので、その内容を紹介します。

2 地産地消ふれあい給食の日について

ふれあい給食は久慈湊小学校で開催され、3学年児童19名が参加しました。

はじめに、久慈市の遠藤譲一市長が、しいたけが久慈市の重要な産業であることや給食の大事さを話しました。その際、「しいたけが好きじゃない人」を聞いたところ1割の児童が「苦手」と答えていました。

次に林業普及指導員が、「しいたけを学ぼう！」と題し、しいたけの種類、しいたけの生産地、しいたけは体に良い！などについて授業を行いました。



林業普及指導員によるしいたけの授業

また、市の食生活改善推進員からは、地産地消の取組やしいたけの栄養の話などがあり、児童は熱心に聞いていました。

3 「シイタケ学校給食」について

今回給食に使用された原木しいたけは、久慈市産のもので、じっくり煮込んだ「筑前煮」として提供されました。

児童からは「こんにやくみたいな食感でおいしかった」や「地元のしいたけを無駄にしないように、これからもたくさん食べる」という声が聞こえました。



しいたけを使用した給食

4 今後に向けて

久慈市では毎年、児童を対象とした植菌体験と学校給食の開催により、原木しいたけについての学習を行っております。

当部では、このような機会を通じて継続して原木しいたけの普及に努めて参ります。